

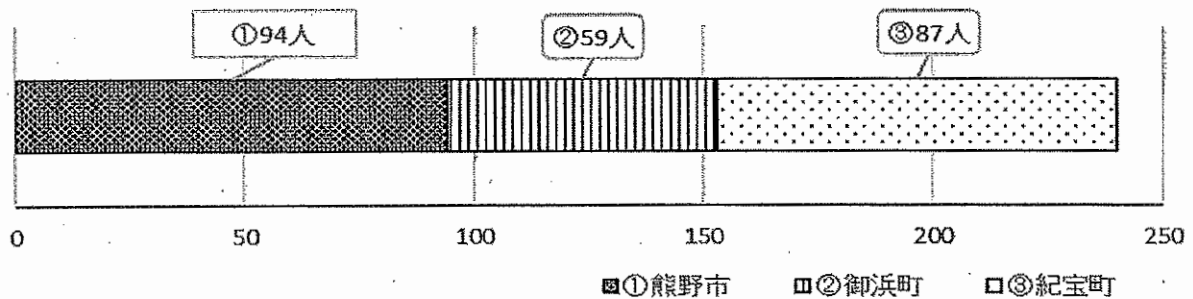
令和4年度  
紀南地域の県立高校に関するアンケート結果（対象：生徒）

紀南地域高等学校活性化推進協議会

- 調査期間 : 令和4年9月中旬～10月14日（金）
- 調査対象 : 紀南地域の中学2年生全員 262人  
（熊野市・御浜町・紀宝町）
- 調査形態 : 一人一台端末のCBTシステム利用
- 回答者数 : 240人（回収率91.6%）

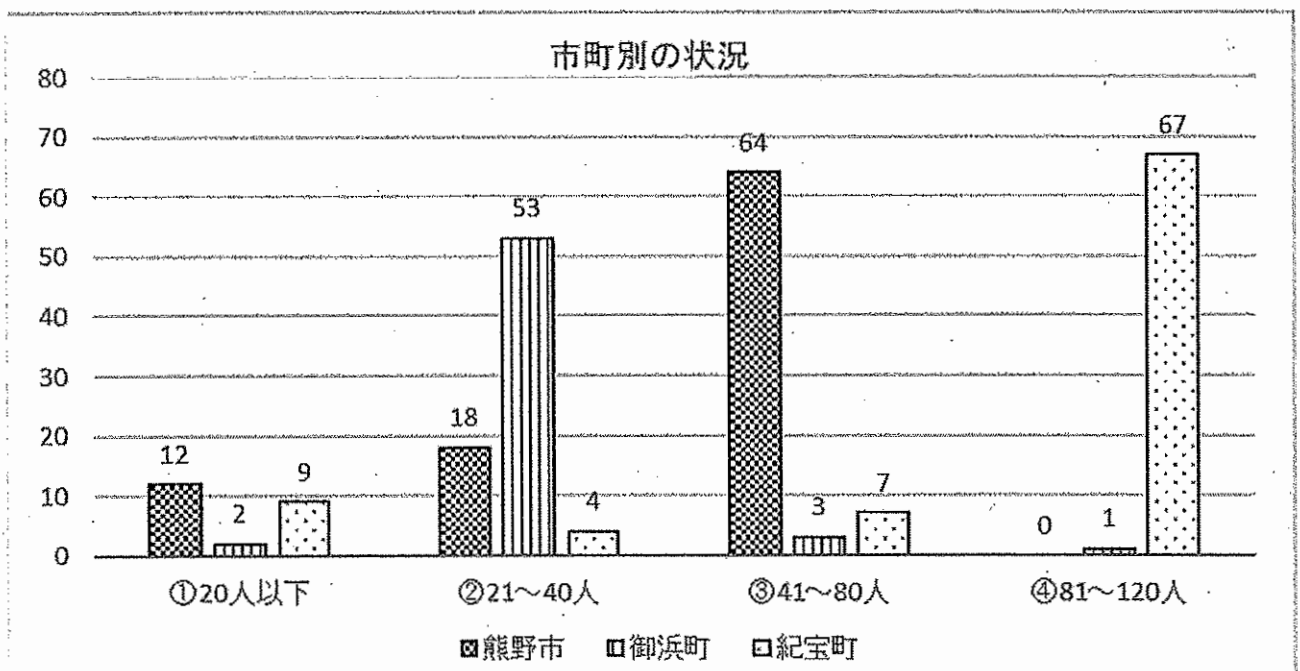
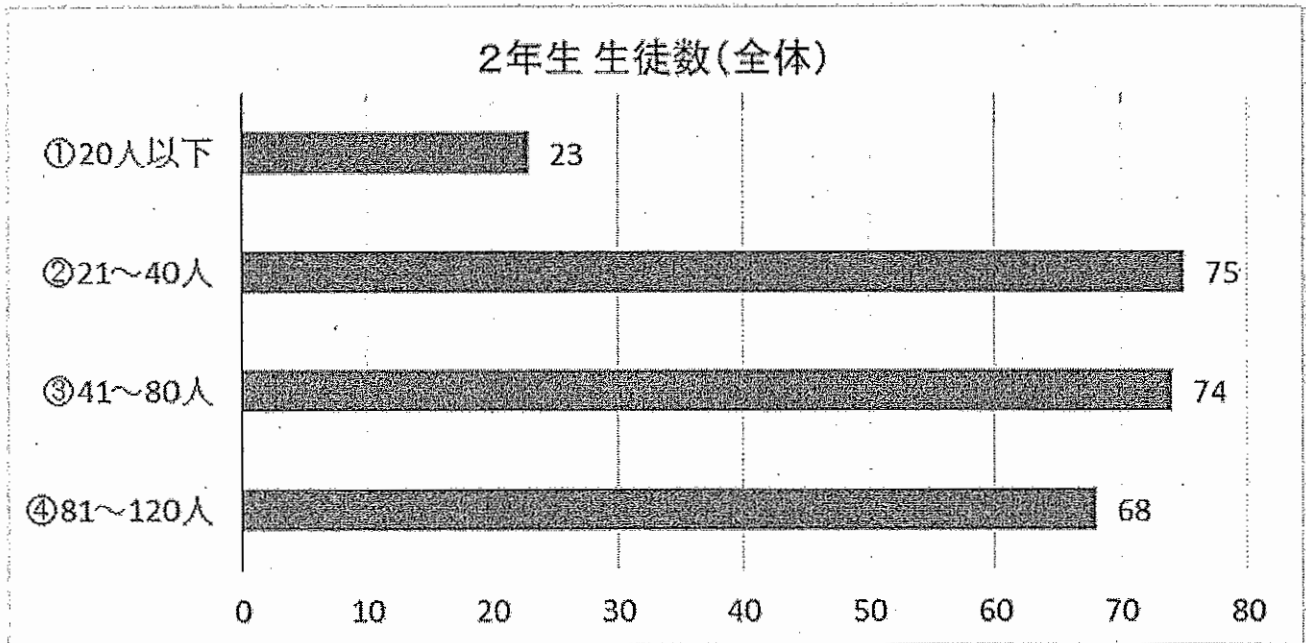
1 あなたは、どこに住んでいますか。次から1つ選んでください。

- ① 熊野市    ② 御浜町    ③ 紀宝町



2 あなたの学校の2年生の生徒数は何人ですか。次から1つ選んでください。

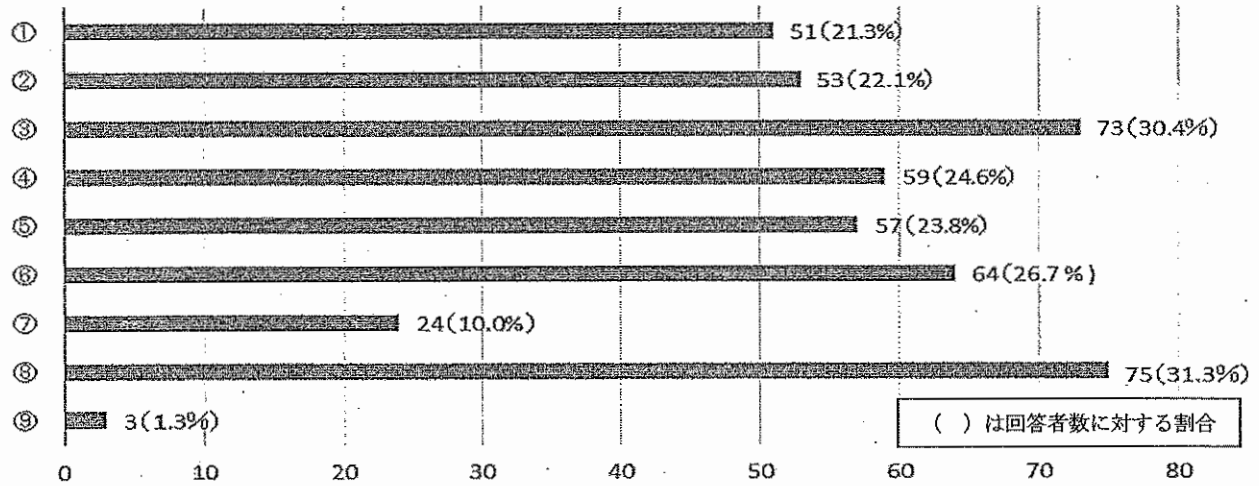
- ① 20人以下      ② 21~40人      ③ 41~80人      ④ 81~120人



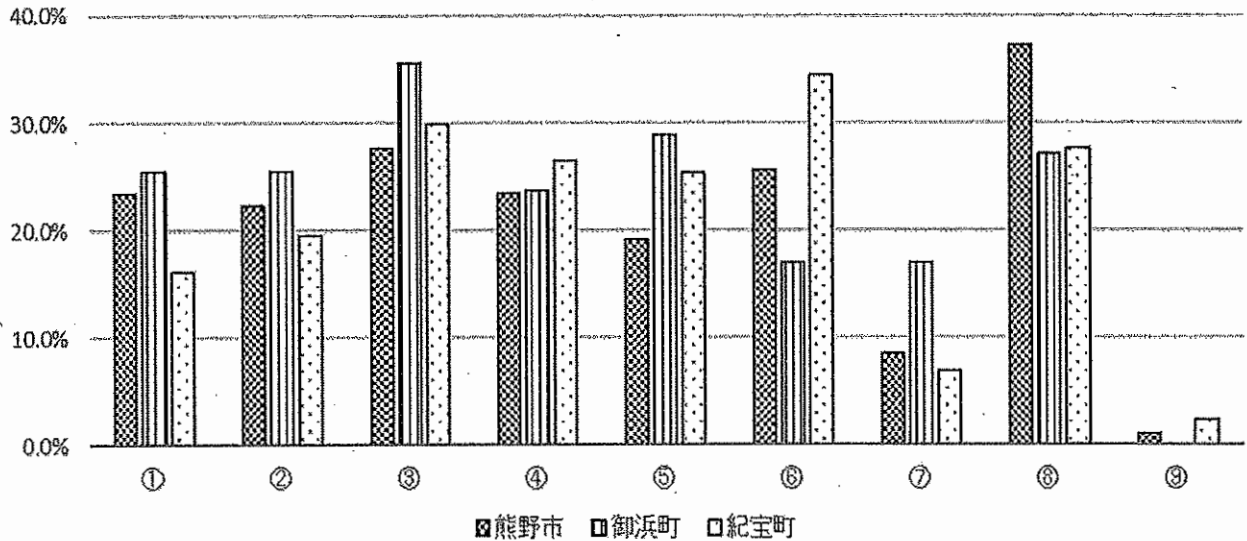
3 あなたが高校を選ぶとき、重視することは何ですか。2つ以内で選んでください。

- ① 大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる
- ② 就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる
- ③ 進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択することができる
- ④ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している
- ⑤ 入りたい部活動がある
- ⑥ 多くの友だちや先生と出会うことが期待できる
- ⑦ 一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細かな教育が期待できる
- ⑧ 通学しやすい
- ⑨ その他（3-2の自由記述へ）

高校を選ぶときに重視すること(全体)



市町別の状況

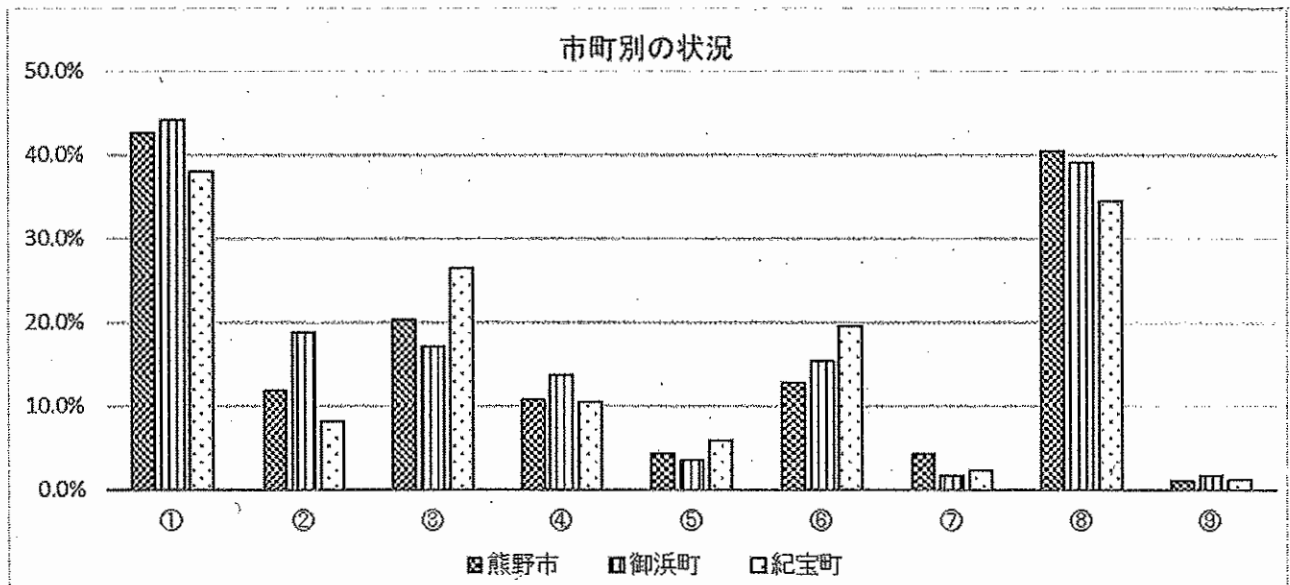
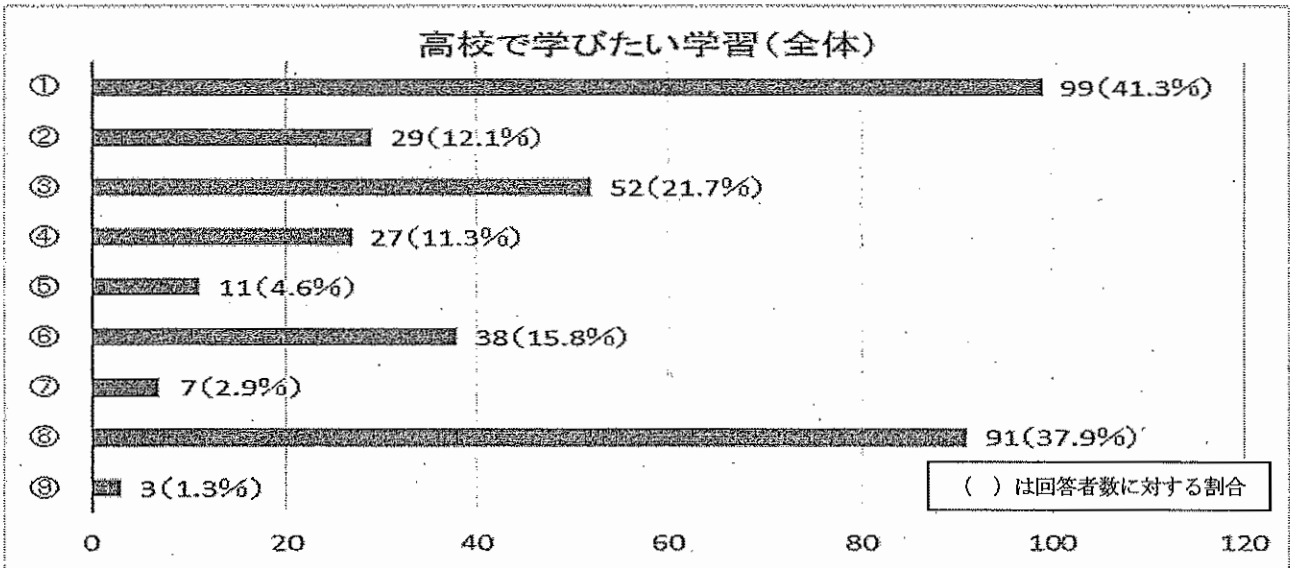


	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
熊野市 (人)	22	21	26	22	18	24	8	35	1
熊野市回答者数に対する割合	23.4%	22.3%	27.7%	23.4%	19.1%	25.5%	8.5%	37.2%	1.1%
御浜町 (人)	15	15	21	14	17	10	10	16	0
御浜町回答者数に対する割合	25.4%	25.4%	35.6%	23.7%	28.8%	16.9%	16.9%	27.1%	0.0%
紀宝町 (人)	14	17	26	23	22	30	6	24	2
紀宝町回答者数に対する割合	16.1%	19.5%	29.9%	26.4%	25.3%	34.5%	6.9%	27.6%	2.3%

3-2 3で「⑨その他」を選んだ人は、重視する内容を書いてください。

・バイトができる ・楽しそう

- 4 高校には様々な学科や課程での授業があります。あなたが高校に進学するとしたら、どのような学習をしたいですか。次から2つ以内で選んでください。
- ① 国語・社会・数学・理科・英語など中学校で学習する内容を深める学習
  - ② 音楽や美術など芸術についての学習
  - ③ スポーツや保健体育についての学習
  - ④ 商品の流通・販売、簿記などビジネスの基礎についての学習
  - ⑤ 介護や福祉関係の職業につくための学習
  - ⑥ 医療や看護関係の職業につくための学習
  - ⑦ 地域の文化や産業等について学び、地域活性化を考える学習
  - ⑧ わからない、まだ決まっていない
  - ⑨ その他（4-2の自由記述へ）



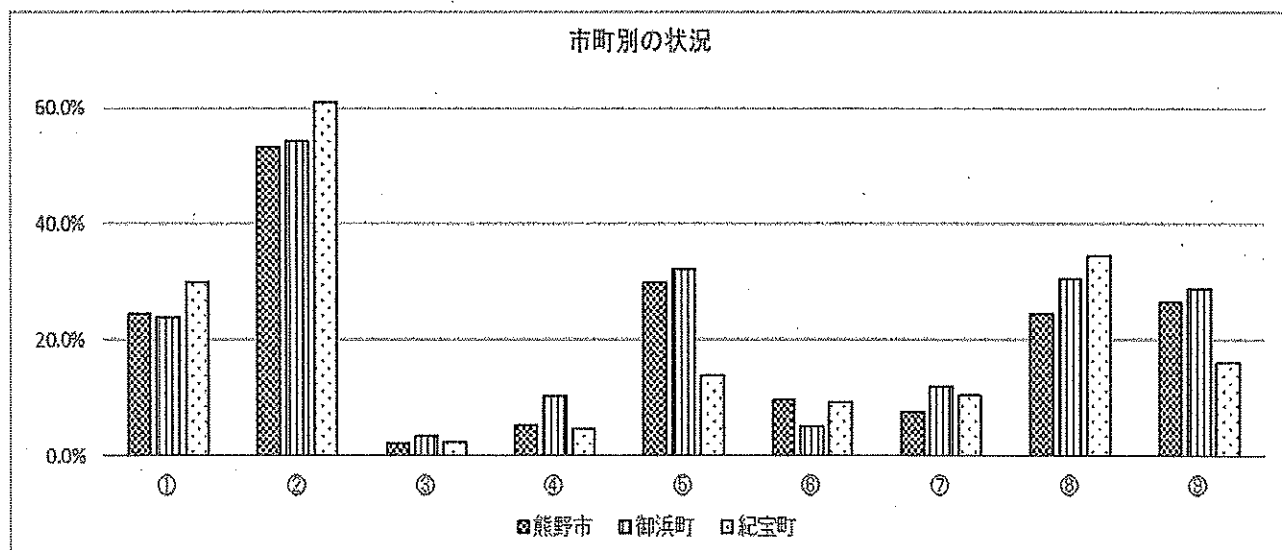
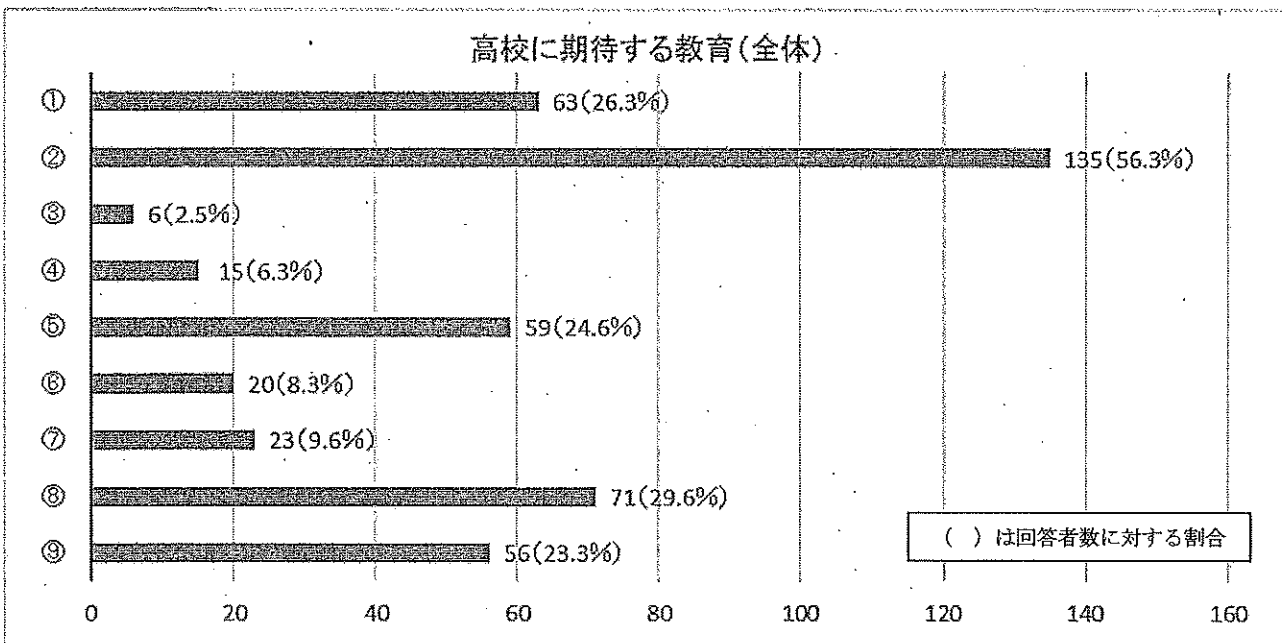
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
熊野市 (人)	40	11	19	10	4	12	4	38	1
熊野市回答者数に対する割合	42.6%	11.7%	20.2%	10.6%	4.3%	12.8%	4.3%	40.4%	1.1%
御浜町 (人)	26	11	10	8	2	9	1	23	1
御浜町回答者数に対する割合	44.1%	18.6%	16.9%	13.6%	3.4%	15.3%	1.7%	39.0%	1.7%
紀宝町 (人)	33	7	23	9	5	17	2	30	1
紀宝町回答者数に対する割合	37.9%	8.0%	26.4%	10.3%	5.7%	19.5%	2.3%	34.5%	1.1%

4-2 4で「⑨その他」を選んだ人は、学習したい内容を書いてください。

- ・俳優関係の職業につくための学習
- ・インターネットやプログラミングなどの学習
- ・ビデオやゲームを作る映像系の学習

5 あなたが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。2つ以内で選んでください。

① 自ら学び続ける力を育てる教育                      ② 自分の将来を選択する力を育てる教育  
 ③ 地域について学ぶ教育                                      ④ 人権に対する意識を高める教育  
 ⑤ 基本的な知識を身につける教育                      ⑥ ICTを積極的に活用する教育  
 ⑦ 広く世界で活躍できる力を育てる教育  
 ⑧ 社会性や協調性、コミュニケーション能力を育てる教育  
 ⑨ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感を身につけることができる教育  
 ⑩ その他（5-2の自由記述へ）



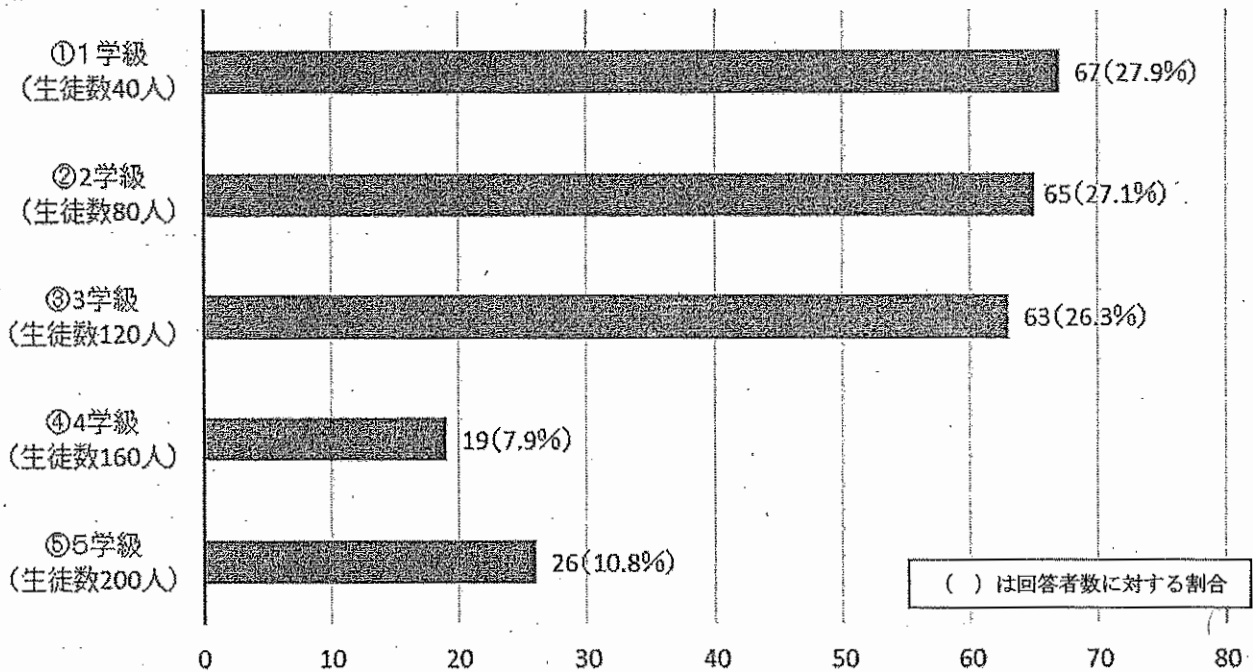
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
熊野市 (人)	23	50	2	5	28	9	7	23	25
熊野市回答者数に対する割合	24.5%	53.2%	2.1%	5.3%	29.8%	9.6%	7.4%	24.5%	26.6%
御浜町 (人)	14	32	2	6	19	3	7	18	17
御浜町回答者数に対する割合	23.7%	54.2%	3.4%	10.2%	32.2%	5.1%	11.9%	30.5%	28.8%
紀宝町 (人)	26	53	2	4	12	8	9	30	14
紀宝町回答者数に対する割合	29.9%	60.9%	2.3%	4.6%	13.8%	9.2%	10.3%	34.5%	16.1%

5-2 5で「⑩その他」を選んだ人は、期待する内容を書いてください。

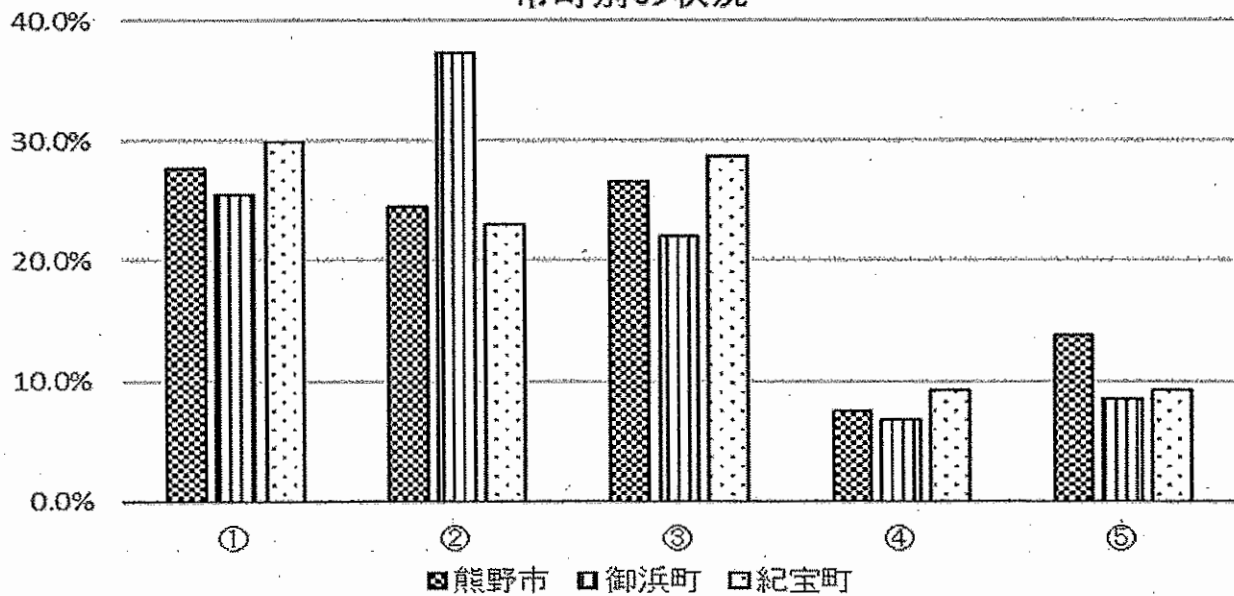
「⑩その他」の該当者なし

6 あなたは高校に行くとしたら、1学年あたりどのくらいの学級数の高校で学びたいですか。次からひとつ選んでください。  
 ①1学級(生徒数40人)      ②2学級(生徒数80人)      ③3学級(生徒数120人)  
 ④4学級(生徒数160人)      ⑤5学級(生徒数200人)

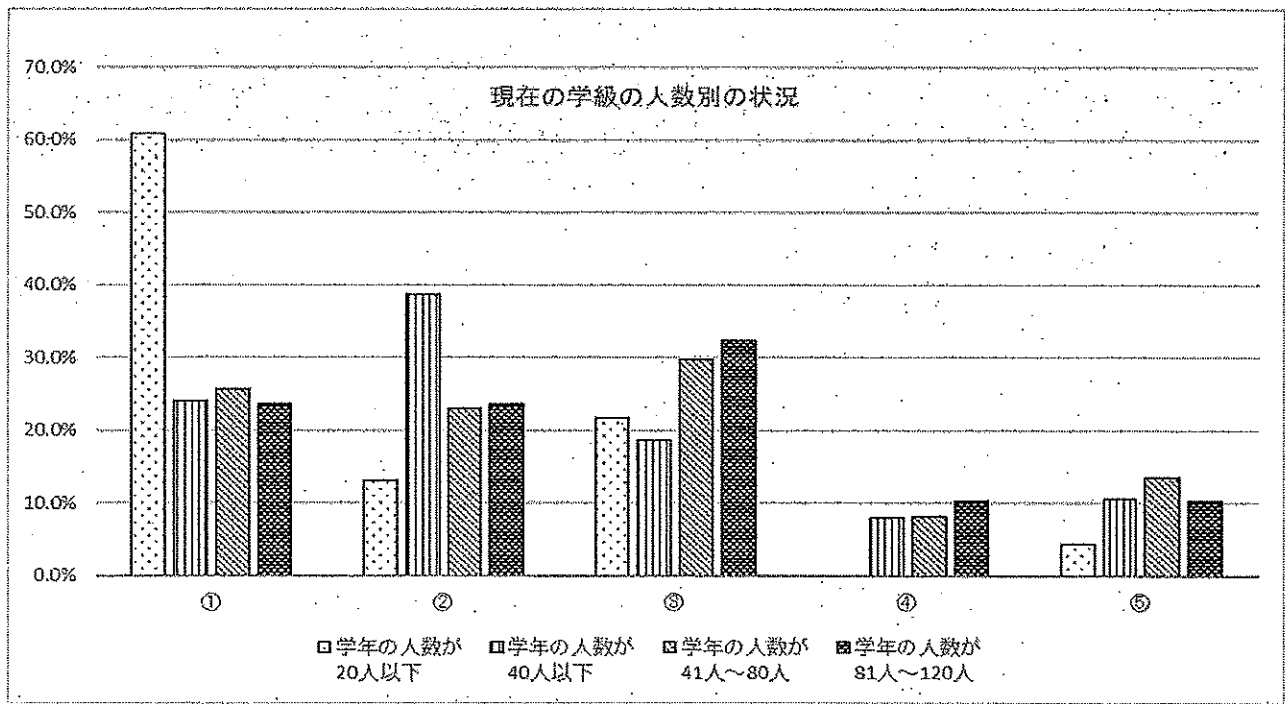
どのくらいの学級数で学びたいか(全体)



市町別の状況



	①1学級	②2学級	③3学級	④4学級	⑤5学級
熊野市 (人)	26	23	25	7	13
熊野市回答者数に対する割合	27.7%	24.5%	26.6%	7.4%	13.8%
御浜町 (人)	15	22	13	4	5
御浜町回答者数に対する割合	25.4%	37.3%	22.0%	6.8%	8.5%
紀宝町 (人)	26	20	25	8	8
紀宝町回答者数に対する割合	29.9%	23.0%	28.7%	9.2%	9.2%



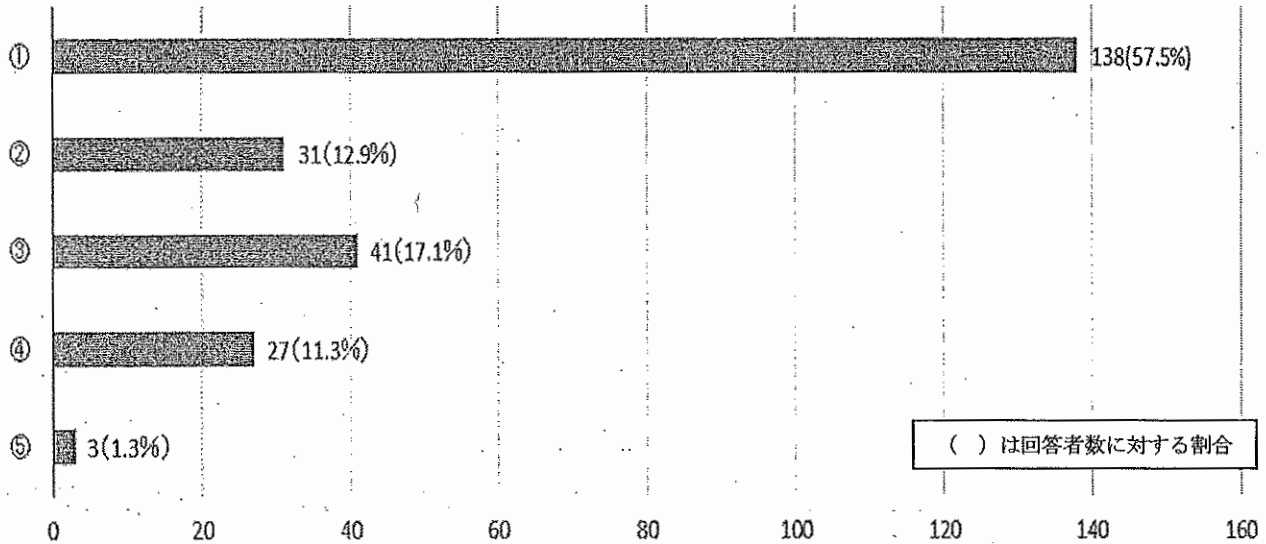
	①1学級	②2学級	③3学級	④4学級	⑤5学級
学年の人数が 20人以下	14 60.9%	3 13.0%	5 21.7%	0 0.0%	1 4.3%
学年の人数が 21人～40人	18 24.0%	29 38.7%	14 18.7%	6 8.0%	8 10.7%
学年の人数が 41人～80人	19 25.7%	17 23.0%	22 29.7%	6 8.1%	10 13.5%
学年の人数が 81人～120人	16 23.5%	16 23.5%	22 32.4%	7 10.3%	7 10.3%



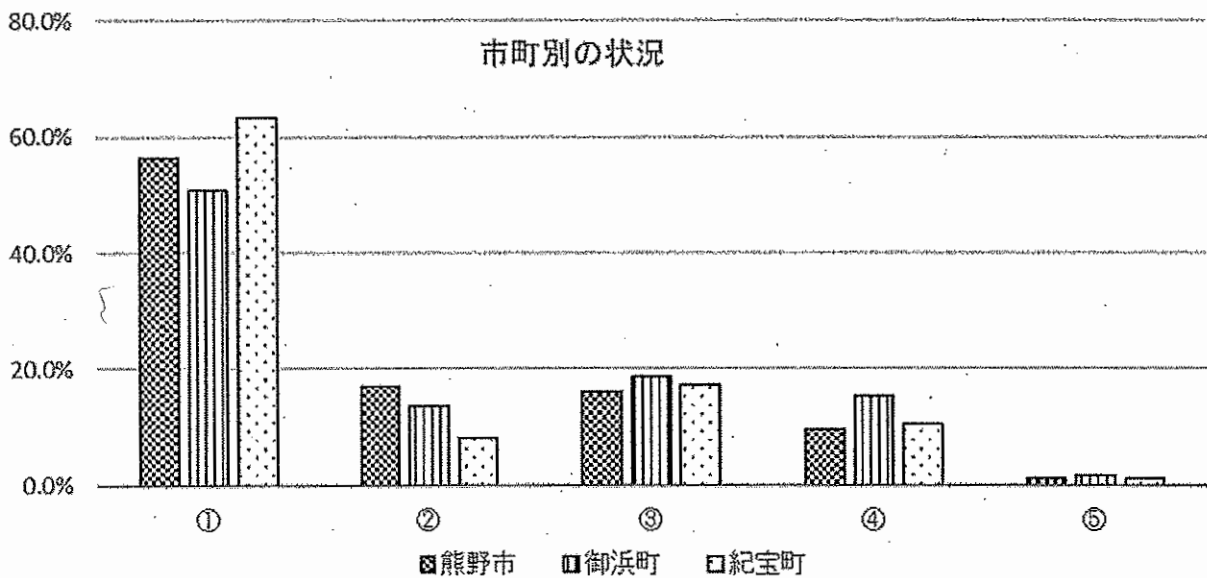
6-2 6を選んだ理由で最もあてはまるものを、次からひとつ選んでください。

- ① 友だちや先輩、先生など、多くの出会いがあると思うから
- ② 学習や部活動等で自分の興味・関心にもとづく多様な選択ができると思うから
- ③ 友だちや先輩、先生との関係が深まりやすいと思うから
- ④ 学習や生活面で一人ひとりが先生にサポートしてもらいやすいと思うから
- ⑤ その他（6-3の自由記述へ）

学びたいと思う学級数を選んだ理由(全体)

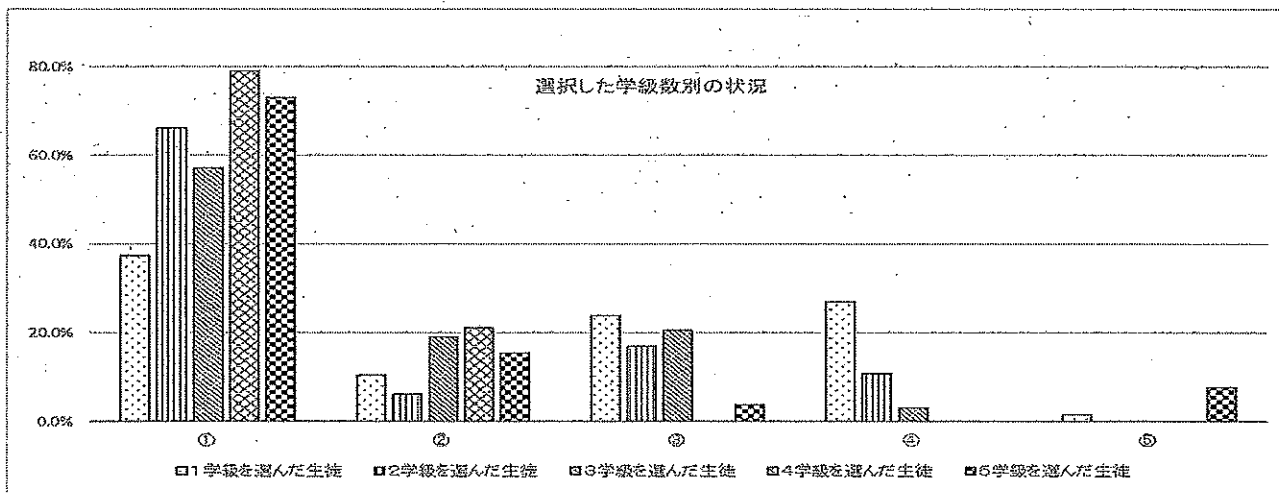


市町別の状況

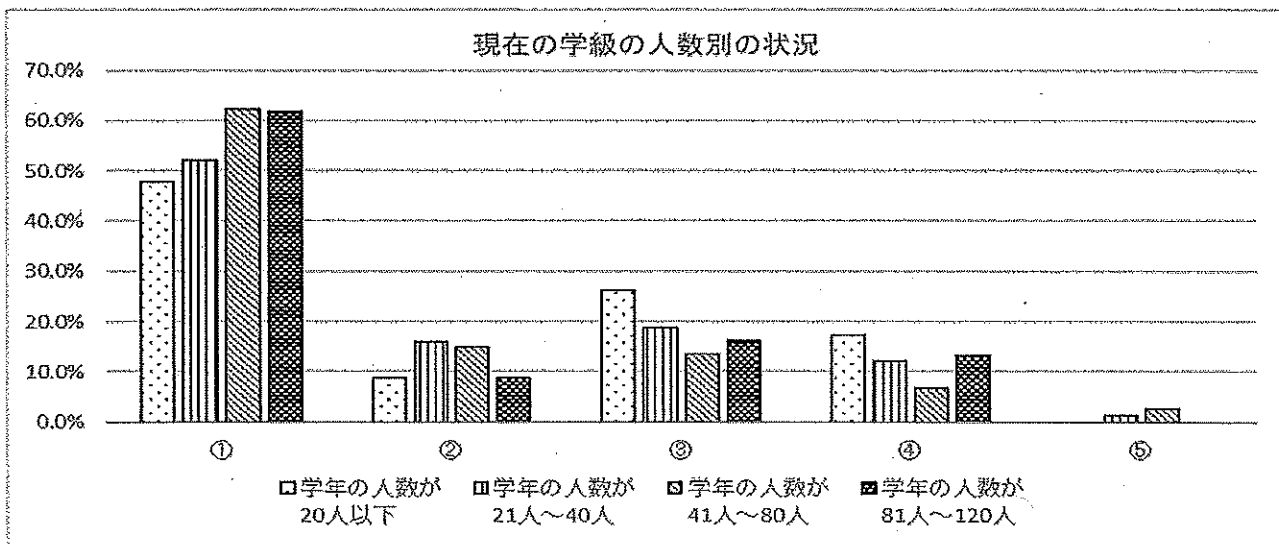


	①多くの出会い	②多様な選択	③関係の深まり	④一人ひとりへのサポート	⑤その他
熊野市 (人)	53	16	15	9	1
熊野市回答者数に対する割合	56.4%	17.0%	16.0%	9.6%	1.1%
御浜町 (人)	30	8	11	9	1
御浜町回答者数に対する割合	50.8%	13.6%	18.6%	15.3%	1.7%
紀宝町 (人)	55	7	15	9	1
紀宝町回答者数に対する割合	63.2%	8.0%	17.2%	10.3%	1.1%





	①多くの出会い	②多様な選択	③関係の深まり	④一人ひとりへのサポート	⑤その他
1学級を選んだ生徒	25 37.3%	7 10.4%	16 23.9%	18 26.9%	1 1.5%
2学級を選んだ生徒	43 66.2%	4 6.2%	11 16.9%	7 10.8%	0 0.0%
3学級を選んだ生徒	36 57.1%	12 19.0%	13 20.6%	2 3.2%	0 0.0%
4学級を選んだ生徒	15 78.9%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
5学級を選んだ生徒	19 73.1%	4 15.4%	1 3.8%	0 0.0%	2 7.7%



	①多くの出会い	②多様な選択	③関係の深まり	④一人ひとりへのサポート	⑤その他
学年の人数が20人以下	11 47.8%	2 8.7%	6 26.1%	4 17.4%	0 0.0%
学年の人数が21人～40人	39 52.0%	12 16.0%	14 18.7%	9 12.0%	1 1.3%
学年の人数が41人～80人	46 62.2%	11 14.9%	10 13.5%	5 6.8%	2 2.7%
学年の人数が81人～120人	42 61.8%	6 8.8%	11 16.2%	9 13.2%	0 0.0%

6-3 6-2で「⑤その他」を選んだ人は、その理由を書いてください。

- (「⑤5学級」を選んだ生徒の理由)
- ・中学校までは人数が少なかったから
  - ・自分の将来の夢を学習できると思うから。
- (「①1学級」を選んだ生徒の理由)
- ・今の2年生の人数が40人くらいだから。



## 令和4年度

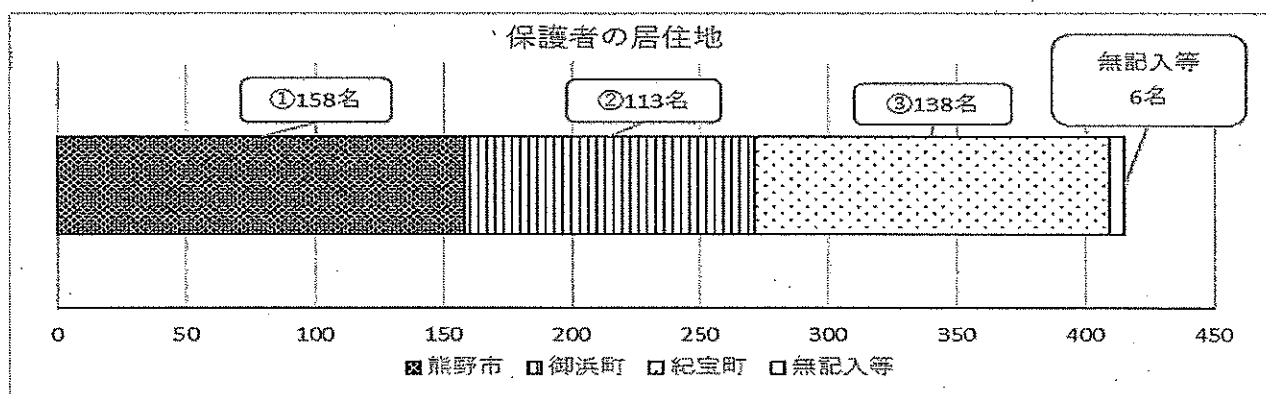
### 紀南地域の県立高校に関するアンケート結果（対象：保護者）

紀南地域高等学校活性化推進協議会

- 調査期間 : 令和4年9月中旬～10月14日（金）
- 調査対象 : 紀南地域の中学1、2年生全員の保護者 486人  
(熊野市・御浜町・紀宝町)
- 調査形態 : 紙媒体でのアンケート
- 回答者数 : 415人（回収率85.4%）

現在の居住地はどこですか。

- ① 熊野市    ② 御浜町    ③ 紀宝町

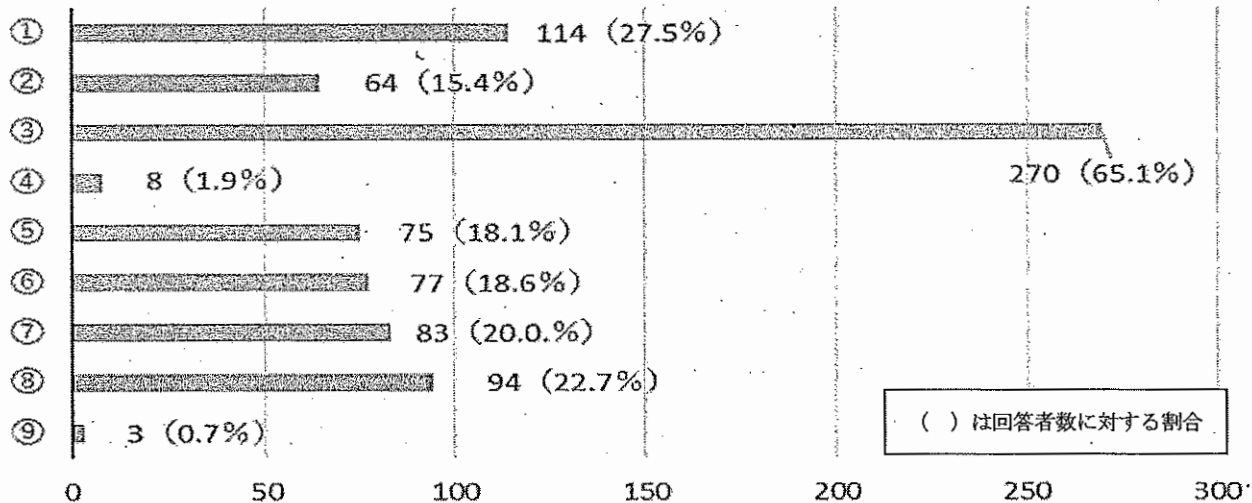


各設問の「市町別の状況」において、無記入等の6名は所属中学校が所在する市町に分類  
※熊野市（162人）、御浜町（114人）、紀宝町（139人）

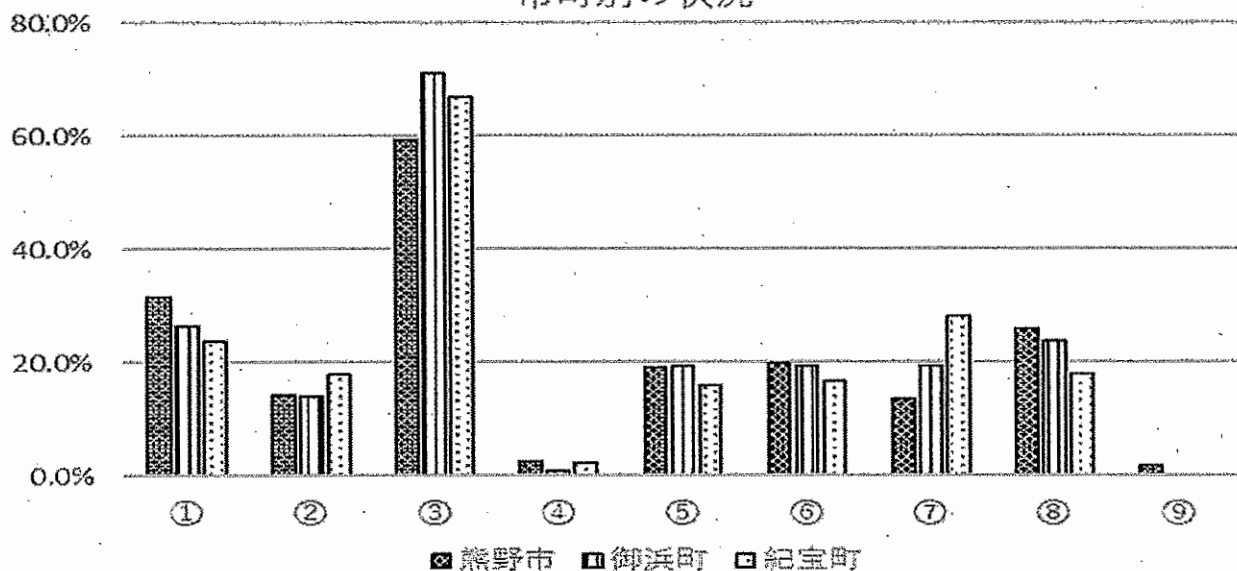
1. お子さんが高校を選ぶとき、重視することは何ですか。2つ以内で選んでください。

- ① 大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる
- ② 就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる
- ③ 進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択することができる
- ④ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している
- ⑤ 入りたい部活動がある
- ⑥ 多くの友だちや先生と出会うことが期待できる
- ⑦ 一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細かな教育が期待できる
- ⑧ 通学しやすい
- ⑨ その他 ( )

高校を選ぶとき重視すること (全体)



市町別の状況



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
熊野市 (人)	51	23	96	4	31	32	22	42	3
熊野市回答者数に対する割合	31.5%	14.2%	59.3%	2.5%	19.1%	19.8%	13.6%	25.9%	1.9%
御浜町 (人)	30	16	81	1	22	22	22	27	0
御浜町回答者数に対する割合	26.3%	14.0%	71.1%	0.9%	19.3%	19.3%	19.3%	23.7%	0.0%
紀宝町 (人)	33	25	93	3	22	23	39	25	0
紀宝町回答者数に対する割合	23.7%	18.0%	66.9%	2.2%	15.8%	16.5%	28.1%	18.0%	0.0%

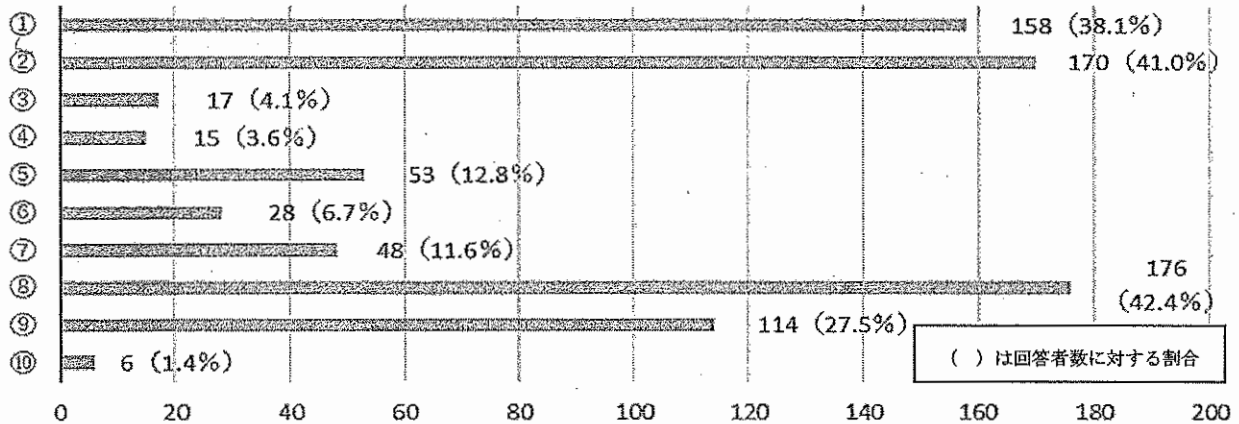
「⑨その他」の記述内容

- ・子どもが行きたい学校を選ぶ
- ・全体的な質をみる
- ・①～⑨すべてを重視

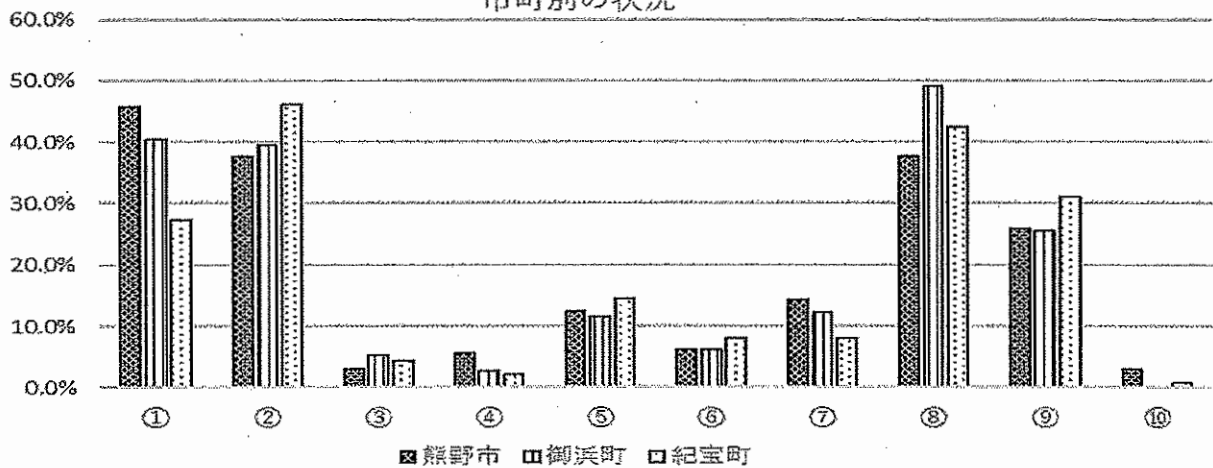
2 お子さんが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。2つ以内で選んでください。

- ① 主体的に学び続ける力を育む教育
- ② 進路選択の力を育む教育
- ③ 地域と協働しながら課題解決力を育む教育
- ④ 人権意識を高める教育
- ⑤ 学び直しや基本的な知識の習得ができる教育
- ⑥ ICTを積極的に活用した教育
- ⑦ グローバル社会で活躍できる力を育む教育
- ⑧ 社会性や協調性、コミュニケーション能力を育む教育
- ⑨ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感を身につけることができる教育
- ⑩ その他 ( )

高校にどのような教育を期待するか (全体)



市町別の状況



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
熊野市 (人)	74	61	5	9	20	10	23	61	42	5
熊野市回答者数に対する割合	45.7%	37.7%	3.1%	5.6%	12.3%	6.2%	14.2%	37.7%	25.9%	3.1%
御浜町 (人)	46	45	6	3	13	7	14	56	29	0
御浜町回答者数に対する割合	40.4%	39.5%	5.3%	2.6%	11.4%	6.1%	12.3%	49.1%	25.4%	0%
紀宝町 (人)	38	64	6	3	20	11	11	59	43	1
紀宝町回答者数に対する割合	27.3%	46.0%	4.3%	2.2%	14.4%	7.9%	7.9%	42.4%	30.9%	0.7%

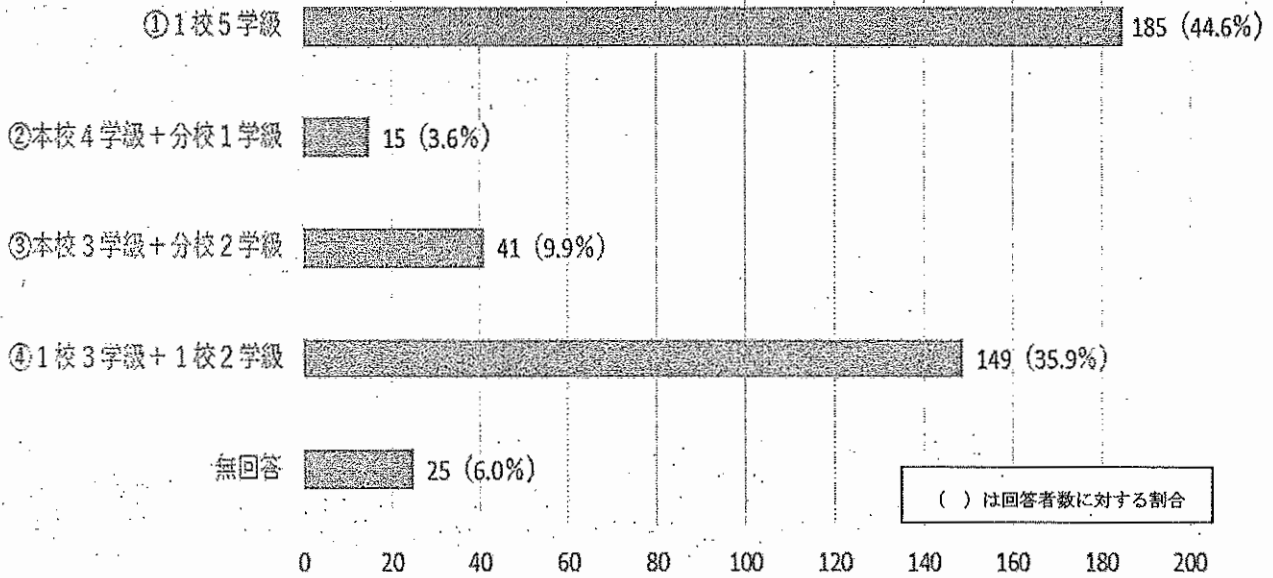
「⑩その他」の記述内容

- ・進路希望に沿った専門的な教育
- ・施工に関する教育
- ・やりたいことが学べる環境
- ・①～⑨のすべてを期待
- ・部活動を通じて団体生活、思いやり、人への気配り、目配り、心配りができる人間性を教育できる学校生活に期待する
- ・皆違うので、個人の良いところ悪いところをわかってあげて能力を伸ばす教育
- ・大学進学に向けてしっかり受験対策をしてくれる

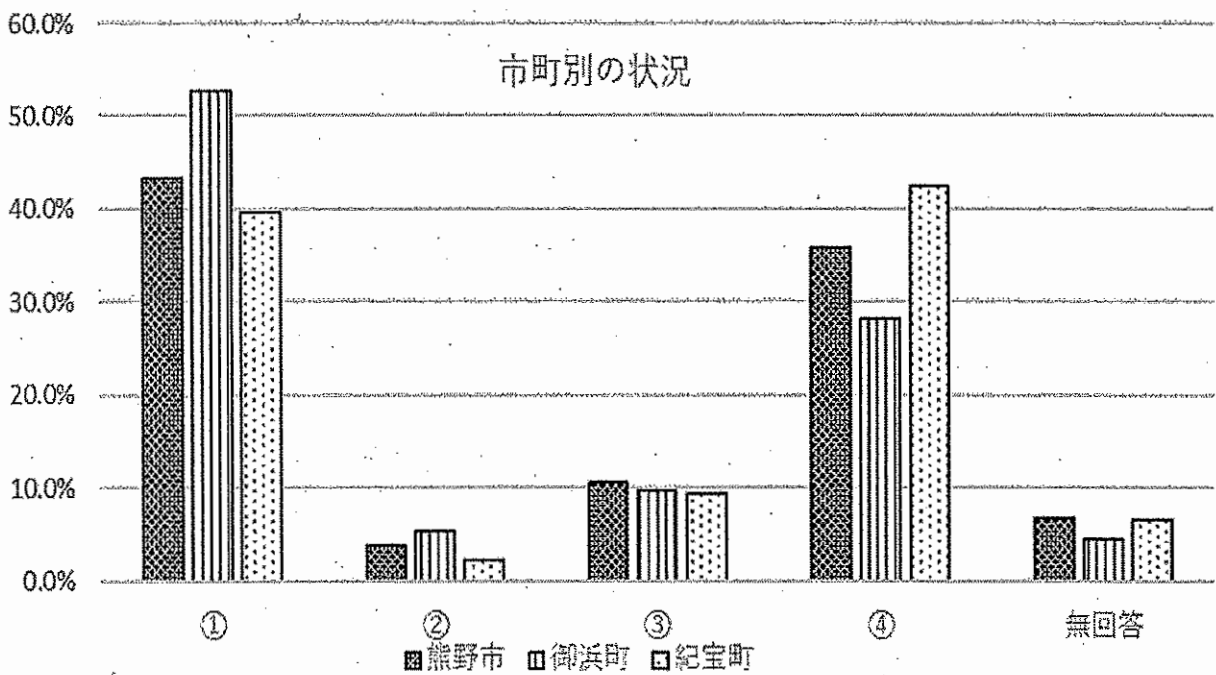
3-1 令和7年度に地域の全日制高校1年生の総学級数が現在の6学級から5学級になると見込まれています。あなたの意見は以下のどれに近いですか。

- ① 2校を統合した学校で学ぶ（1校5学級）
- ② 2校を統合して1校を分校とし、2つの校舎で学ぶ（本校4学級+分校1学級）
- ③ 2校を統合して1校を分校とし、2つの校舎で学ぶ（本校3学級+分校2学級）
- ④ 統合せずに、それぞれの学校で学ぶ（1校3学級+1校2学級）

5学級規模での学校のあり方



市町別の状況



	① 1校5学級	② 本校4学級+分校1学級	③ 本校3学級+分校2学級	④ 1校3学級+1校2学級	無回答
熊野市 (人)	70	6	17	58	11
熊野市回答者数に対する割合	43.2%	3.7%	10.5%	35.8%	6.8%
御浜町 (人)	60	6	11	32	5
御浜町回答者数に対する割合	52.6%	5.3%	9.6%	28.1%	4.4%
紀宝町 (人)	55	3	13	59	9
紀宝町回答者数に対する割合	39.6%	2.2%	9.4%	42.4%	6.5%

3-2 5学級の学びのあり方について選んだ理由を記入してください。

①1校5学級を選んだ理由 (185名のうち、149名回答：抜粋)

(生徒減少の状況から)

- ・10年・20年後子どもの数が減り続ける。1つの高校になるなら絶対に早い方がよい。行く高校によって部活を断念する子もいる。1つの高校で勉強が得意な子、運動が得意な子等それぞれの特性に応じてコース分けをしてほしい。(熊野市)
- ・学級数が減少していくのに2校以上の校舎で学ぶ機会を継続するのは難しいのではないかと。問題を先送りにするのみで数年ごとに同じ議論をくり返すのではないかと(御浜町)
- ・複雑化しないシンプルな統合をした方がよい。少子化なので2校も必要なく統合に賛成する友達が多い方がよい。部活動の種類も多くなる。各部活の人数も増える(紀宝町)

(多くの出会いを重視)

- ・小中学校では少人数で学んできたので社会に出る前の段階を踏む意味で少しでも多い人数で活動・人生経験をしてほしい。学校が小さいから・人数が少ないから・田舎だからとマイナス面ばかりで考えるのではなく発想の転換・逆転を大人も子供もできるように大人がしっかり考えて提示し続けなくてはならない(熊野市)
- ・統合しても通学できる範囲であれば分校の必要性はないと考えた。多くの生徒同士で学びあってほしい(御浜町)
- ・進学先の高校の偏見をなくし、同じ高校でそれぞれの学びをしてもらいたい。友達と離れることもなく精神的な安定も図れる。生徒もいろいろなタイプがあるが教師にもあるため多くの教師の中で人として学び勉学や人権を学んでほしい(紀宝町)

(進学・就職対応の充実)

- ・進学・就職に向けた多様な進路希望に幅広く対応できるというところに期待する(熊野市)
- ・1校にするのは簡単ではないが将来的には1校にする方がよい。普通科と総合学科をしっかりと分けて専門的に学ばせる。進路に関しても進学・就職の数も増やすことができ選択肢も増える。部活動も心やることができる。子供たちにやりたいことをやらせることができる(御浜町)
- ・選択科目が多い方が学びたいことや知りたいことが勉強できてよいと思う。生きていくうえで選択することは大事である(紀宝町)

(部活動・学校行事の充実)

- ・部活動の人数が確保できて、競争意識をもってレベルアップできる。多くの同級生や先輩後輩と出会うことができ人としての幅を上げられる(2学級では中学校と変わらない)行事の活性化と地域の活性化にもつながる(熊野市)
- ・部活動をはじめ多くの面で少人数ではできない教育環境を実現できるものを思う。また多くの学友や先生方と触れ合うことで成長期のかげがえのない経験になると思います(御浜町)
- ・生徒数は親の世代からすると半分以下である。部活の数も減っている。団体競技がしたい子は自宅から離れた高校へ行ってしまう。その状況をなくしたい。高校生活は人数が多い方が楽しく過ごすことができそうである(紀宝町)

(その他)

- ・分校はクラスが少なく規模が小さくなるので出来ることに大きく差が出てしまう。交通費は同じ学校内でも海岸部と山間部で大きく違う。統合だけの問題ではないと思う(熊野市)
- ・2校舎にするメリット(学習・部活動・行事等)があまりない。通学の負担については現在も通学している学生がいるので仕方ないと思う(御浜町)



- ・子どもの数が減って教師の確保が難しくなると、質の良い教育が受けられなくなりそう（紀宝町）

## ②本校4学級＋分校1学級を選んだ理由（15人中のうち、11人回答：抜粋）

- ・1校5学級が望ましいが、進学しやすい、地域の反発を考えると現時点では②がベターであると思う（熊野市）
- ・1校に統合すると通学が難しい生徒もいるかもしれない。部活動や学校行事が継続するためある程度まとまった人数が必要と考える。選択肢は多い方が好ましい（御浜町）
- ・大学進学に対応する選択科目の開設。部活動の継続。生徒の進学環境が大きく変わらないため（紀宝町）

## ③本校3学級＋分校2学級を選んだ理由（41人中のうち、32人回答：抜粋）

（連携の必要性）

- ・統合の場合、今まで交流のなかった2つの学校が連携してできることが増えるのではないかと。統合により少なくなった子供たちのつながりが増えるのではないかと。少なくなった時こそ知り合いや顔見知りが増えることは今後生きていくために財産になると思う（熊野市）
- ・1つの高校として連携した教育活動に取り組みことができる。地域と協働した学びを継続できる。先生・生徒等の出会いの機会が増える（御浜町）

（校舎選択の必要性）

- ・通いやすい学校を選択することができる（熊野市）
- ・進学・就職活動の人数に対しての枠と部活動等で人数の幅の面から1つの学校に統合すべき。本校と分校に人数を半分ずつ分けて子供の選択肢と視野を広げる経験をさせる（御浜町）

（通学のしやすさ）

- ・統合は通学時間がかかる生徒が出てくる。交通費の負担がかかると思う。2つの校舎で学ぶことでそれぞれの特色を生かした学校になることが期待できる。一人ひとりきめ細やかな指導をしてほしい（紀宝町）

## ④1校3学級＋1校2学級を選んだ理由（149人中のうち、101人回答：抜粋）

（それぞれの良さを残す）

- ・学校特有の伝統・魅力・個性等を大切にしたい。それを踏まえた子供の選択肢を考えたい。選択肢を減らしたくない（熊野市）
- ・生徒の通学環境は大きく変わらないし、一人ひとりのきめ細やかな指導が期待できる（熊野市）
- ・大学進学と就職につながる教育をそれぞれはっきり特色を分けた学校にしてもらいたい。今もある程度特色があると思う。2校を統合するくらいなら今のまま2校ではっきり教育方針をわけてはどうか（御浜町）
- ・それぞれの高校の地域における役割が異なるため統合せずそれぞれ特色を持った学校として存続していただきたい（紀宝町）

（学校選択の大切さ）

- ・家から通える学校の選択肢を残してほしい。子供にも自分の人生を考えて学校を選んでほしい。選ぶ権利すらなくなるのはかわいそうだと思う（熊野市）
- ・生徒数に関わらずそれぞれの学校の特色をいかして運営してもらえばいいのではないかと。子供たちが将来どうなりたいか、そのためにどんなことを学びたいのか考えると思うので選択肢がある方がいいかなと感じる（御浜町）
- ・それぞれの学力、子供たちの進学先への選択肢が少しでも多く余裕があるようにしてほしい（紀宝町）

(通学のしやすさ)

- ・2校が存続することで生徒の通学環境が大きく変わらない(御浜町)
- ・学力に合った学校で学びたい。自宅から自転車で通える学校を選びたい。学力がついていけないとか無理のないような学校生活を送ってほしい(紀宝町)

(その他)

- ・統合による効率より公共交通機関や地域の産業に与えるデメリットが大きいと感じる(熊野市)
- ・子どものレベルに合った学校で学ばせたい。友人関係で悩む子には離れることも大切である(熊野市)
- ・この地域の高校が1つになったら受験に失敗したらどうなるのか(御浜町)
- ・本校と分校の位置づけの目的が分かりにくい。統合する・しないではなく分校という形をとるメリットが分かりにくい(紀宝町)

#### ※無回答者の意見(25人のうち、8人回答：抜粋)

- ・統合せずにそれぞれの学校で学ぶという意見である。学級数を減らすことには反対である
- ・学力・通学は自身の目標であり高校生活での自分の進路は子供自身がしっかりと考えると思っている
- ・大人の意見も大事だが子供たちの意見も聞いたうえで考えるのもありかと思う。どれがいいのか選べない

#### 4 今後の紀南地域の県立高校の学びと配置のあり方について、ご意見があればお聞かせください。

(104人回答：抜粋)

(統合やむなし：17人)

- ・今後数年のうちに児童生徒の増加が見込める状況にないと思う。子供たちの学びを考えるうえで2校を存続させる合理的な意義はないものと思う。地域の活性化など地域における学校の存在価値が高いことも理解できるが、将来紀南地域の高校に通うことになる子供たちや若い世代の保護者の意見を重視した検討をお願いする。またもっと早い時期に検討を行うべきだったとも感じる

(2校存続を希望：9人)

- ・統合は避けられないかもしれないが、正直2校の存続を希望している。厳しい中でも教師の確保・安定した学習環境を求める。学校が減ると地域のコミュニティが崩れる。議論の際は公的な発想だけでなく民間の意識を持って取り組んでいただきたい

(新校舎の設置について：13人)

- ・2校とも海の近くであり津波の危険がある場所にあるので、安全な場所に移動したらいいと思う

(魅力ある学校づくりについて：6人)

- ・単に合理性だけでの統合は駄目である。子供たちにこれまでのような勉強やクラブ活動の機会を作ることが大事である

(県外高校への進学等について：6人)

- ・現状の配置を維持する場合、県境をこえての受け入れを許可する等新しい取り組みが必要と考える

(学校の選択肢について：4人)

- ・学校自体の選択肢がないので、学内で選べる学科・コースがよいのではないかと

(通学について：4人)

- ・統合の場合、通学が困難な子のために寮やスクールバスを検討していただきたい

(部活動の大切さについて：2人)

- ・紀南高校のように2学級では部活動の人数確保が難しく、本来高校は多くの人と出会い学び、成長していく場であるのに、中学校と同規模の活動に制限されてしまう。紀南地域では少子高齢化・過疎化が進んでいるうえに、部活動が強化されている他所の高校に子供たちがどんどん進学してしまっている悪循環がある。統合により子供たちの進路によってコースや学科を選択できるよう、更に部活動や行事をもっと盛り上げて魅力ある高校を作してほしい

(高校のあり方の決め方について：2人)

- ・それぞれの地域の意見はすでに十分に聞いたと思う。全員が満足する結論はでない。県立学校なので県があり方を決断すればいいと思う

(その他：41人)

- ・超高齢化及び過疎化した地域だが未来ある子供たちがいることは事実で、その地域ならではの環境をいかしながらも都心部に住まう子供たちと変わらない学習環境を与えてあげられると考えている。そうすれば地域にとどまらず三重県全体の学力・能力アップにつながるのではないかと思う。輝く未来を子供たちのために拮げてあげてほしい
- ・それぞれの高校の特色を生かせればと思う。学校を作るのは時間がかかる。新しくしたからといって本当によいかどうかはわからない。今の現状をよりよくしていく方がよいと思う
- ・子どもも数が減るから学校を減らすのではなく、少人数学級を増やし、教員も増やし、生徒一人ひとりへのきめ細やかな教育をしてほしい。子供の数が足りないのではなく、教員の数が増えないと思う。少人数クラスでよい教育をしていると、将来的にそれを求めて移住する人も増えるかもしれない。人数が少ない学校だからこそできることはあるはずだと思う
- ・進学率の高まりを踏まえ全国的な共通テストや大学受験で苦勞しないレベルの学習を望む。地理的に災害に強い場所を望むが、県内外の統廃合ではどちらかの学校にというのが一般的でありそれでよいと思う。2校だときめ細かく、1校だと人数に対応できないとリードされていると感じる。生徒の数は年々少なくなるので統合は問題であるとは感じない。通学時間も問題視されているようだが、実際家と学校間の距離で進学先がどれほど選択されているのか。進路や成績で選択していると思う。実際尾鷲から新宮の私立高に通学する生徒もいる
- ・1校に統合すれば支援が必要な生徒から難関大学への進学を目指す生徒まで幅広い生徒が学ぶことになる。選択肢がないことから配当基準を見直し加配を得ることで対応していただきたい。北勢・中勢のように自宅から通えるところに複数の学校があったり、学力的に近い生徒が在籍するのと明らかに対応に困難が伴うことが容易に予想できる
- ・子どもたちの多様なニーズに対応できる高校になるよう慎重に検討してもらいたい
- ・もう少し総合的なクラスが増えてほしい。この地域は通える学校が少ないので子供たちが行きたい学校を自分で選べるような場所ができるとうれしい。今地域を出ないと学べる学校がないので地元で対応できるようなクラス編成やカリキュラムを取り入れてほしい
- ・人口が減っているのはわかるが部活動が減ってしまうのは残念に思う。中学で頑張ったクラブを高校でも続けられるよう、自宅から離れた高校までいかなくてもいいようこれ以上減らないでほしい